



「エネルギー」

2学期が始まりました。子どもたちが、思いをもって登園してきました。私は、できるだけ自然にその思いを受け止めながら、再開を喜び合いました。

夏休み中の「おひさま」では、畑のキュウリを塩もみし、みんなでいただき、ほてった身体を冷ましました。遊びながら口にほおぼるトマトは、子どもたちの水分補給になりました。大根の芽が大きな葉っぱに育っていく様子や、誰もが気にしている玄関のつるに実ったピオーレというブドウは、日々色づき、久しぶりに登園した子も「全部、黒くなったら食べよう」と、自分に言い聞かせるかのように登園してくるのです。今年は、屋根の上までカボチャの芽が伸び、カボチャが6つもぶら下がったのです。興味深く見ていた子どもたちに、水彩画でカボチャの絵を描くことにしました。カボチャの白いシミを蠟で描き、白抜きする手法で描かせました。画用紙に絵の具を落とすと絵の具がはじかれるその不思議さに「わー！」と驚くのです。どの子も素晴らしい作品ができました。

今年は、2学期が始まってすぐ、リンゴの木にたくさんのリンゴが実りました。風で落ちる前に、60個ほどのリンゴを収穫しました。匂いを嗅いだり、虫に食べられている穴を覗いたり、リンゴの肌感を楽しんだりしながらリンゴを観察し、早速、焼きリンゴにしておいしくいただきました。それでもまだあるリンゴは、ジャムにして、運動会が終わったらアップルパイを作ろうと計画しています。こひつじ幼稚園の教育は、命を感じたり向き合ったり、自分や周りの人の命や生き方を知ったりしながら、自分がどのような人になりたいのかと自分の心に向き合うことを大事にしています。「お世話もしないのに、こんなに野菜が収穫できたね」「神さまが雨を降らせてくれたからだね」など、日常の生活の中で豊かな会話が展開されています。

ピクルスは、ヨーロッパの漬物です。口に合わない子がいたり、やせ我慢しておいしいという子もいましたが、たんまり取れた野菜を切って、ピクルスを作り「さくらオーロラマーケット」を出店することにしました。すでに4回目のお店屋さんですから分担作業はお手の物です。保護者の皆様のご協力のおかげで、3,700円の売り上げでした。今までの売り上げを加えると12,850円となります。銀行係から発表された時、「みんなで沖縄に行くか?」「幼稚園をもう少し広くするか?」など、楽しい考えがありました。子どもにとってはそれほどまでに大きなお金に感じているのでしょうか。「お母さん、おいしいって言ってた」「ビールに合うって言ってたよ」と、うれしい報告をたくさん伝え合いました。心よりお礼申し上げます。

さて、子どもたちは運動会を18日にすることを決めました。この日、お家の方にも来ていただき、自分たちの筋肉を見ていただくことと目標を固めました。保護者の皆様には十分ご理解いただいていることですが、こひつじ幼稚園の運動会は、自分が一番見てほしい運動遊びや、チャレンジしている姿を応援していただく会です。今は、やってみたい運動遊びにひたすらチャレンジ中です。リレーは、去年の年長さんのことを思い出し、自分たちでやっていますが、「いつになっても終わらないんだよ」「人数はどうしたか?」など、終わりのないリレーを楽しむ中で、身体が鍛えられ、ルールがあること、決め事が必要であることに気づきはじめています。子どもたちが自分たちで楽しもうとすることを大事にしながら、運動遊びを楽しませたいと思い、取り組んでいるところです。同時に、これまで口にしてきた様々な野菜や、お母さんが作ってくださるお弁当のおかずから、栄

養素にも触れ、筋肉を作ってくれる食べ物や、力をくれる食べ物に注目させながら、食にも関心をもたせていきたいと思っています。運動会前に、幼稚園の野菜室に眠っているキュウリと胸肉を和えて、バンバンジーもどきや、大根の収穫をして田楽味噌おでんをいただき、自分の身体の筋肉を強めていこうと計画しているところです。食いしん坊の話が続きましたが、食べることは生きることであり、生きるなら力強くがよく、様々なことに欲張って2学期をすすめていきたいと考えているところです。生き生きした子どもたちの姿、昨年より成長した姿を応援していただけただけなら幸いです。

